

下町人情、江戸文化を肌で 感じることのできるまち

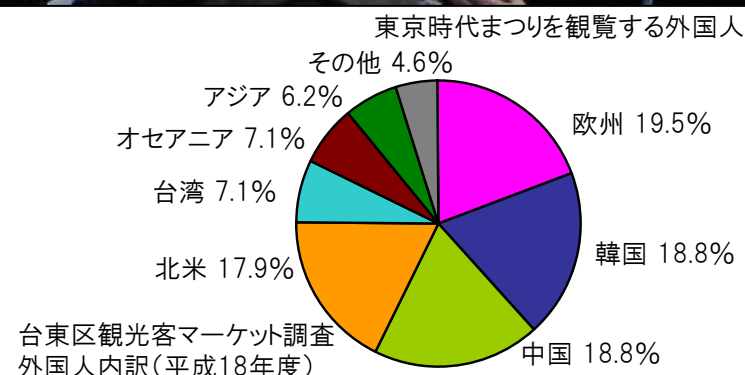
江戸文化を残す浅草と谷中地域が連携した外国人宿泊客の受入体制の構築により、特に欧州・北米の外国人に人気。また、浅草地区と両国・向島地区との連携による外国人旅行者に対する様々な伝統工芸体験メニューなどを実施。



外国人訪問者数

JNTO訪日外客訪問地調査より推計

平成13年(2001)	50万人
平成14年(2002)	49万人
平成15年(2003)	51万人
平成16年(2004)	77万人
平成17年(2005)	82万人



魅力

歴史・文化

体験・イベント

まちめぐり・まち景観

賑わいのある歴史・文化のまち(浅草)

江戸時代から続く日本の歴史・文化を育む街。人と人のふれあいが体験できる粋で風情のある下町情緒の魅力。



伝法院通り(浅草地区)



築地塀(谷中地区)

江戸の風情をのこす寺町(谷中)

谷中地区は、江戸時代の都市計画で多くの寺院が集められ門前町として発展し、その後「寺と坂のある街」として親しまれている。

江戸の文化と日本の国技を体感できるまち(両国)

「江戸東京博物館」は、実際に使用した昔の実物資料を展示するなど、江戸東京の暮らしと文化を現代に伝える。地域には、いくつもの伝統工芸体験の工房があり、特に外国人には屏風博物館が人気。日本の国技である「相撲」の中心地でもあり、街なかを散策すれば相撲取りに出会えるかもしれない。



関取の入場(両国国技館)

取組

PR・誘致活動

案内・情報提供

景観保全・環境整備

人材育成

体験・イベント開催

広域連携の促進

年間を通じたイベントや日本文化を体験する(浅草)



お茶会

春に満開になる桜、浅草流鏝馬、隅田川花火大会(夏)、東京時代まつり(秋)、羽子板市(冬)等々、年間を通じて海外でも人気。また、外国人を対象に、東京国立博物館の茶室でのお茶会、伝統工芸などを体験する「日本文化体験ツアー」を実施。

地域ぐるみのおもてなし(谷中)

谷中は、積極的に外国人旅行者を受け入れる日本旅館の「澤の屋」をはじめ、商店街では英文のメニュー作りや外国人旅行者と気軽に挨拶を交わすなど地域ぐるみの「おもてなし」を実践。外国人旅行者は、地域のお祭りなどにも気軽に参加できる。



お祭りに参加する外国人旅行者

日本らしさを実感できるガイドツアー(両国)



YUKATA de ガイドツアー

浅草・両国地区の民間団体を中心に、両国国技館や旧安田庭園など外国人旅行者を対象として、両国相撲博物館の見学やお茶会、俳句などの体験ができるガイドツアーを実施。その他、外国人旅行者向けに伝統工芸体験メニューの取りまとめやPRなど、行政区域を越えた積極的な両地域の連携の取り組みを実践。

台東区にぎわい誘客課 TEL: 03-5246-1447

URL: http://www.taitocity.com/kanko/asakusa_ueno/j_guide/index.html

墨田区観光推進課 TEL 03-5608-6500 URL: <http://www.kanko-sumida.com/>